

令和5年度決算 財務書類の公表

地方公会計制度のはじまり



これまでの地方自治体の会計は、家計簿のような「現金主義」を採用していました。「現金主義」とは、定められた予算の中で現金を支出するため、予算をまとめやすく、現金の流れのみを把握していたのです。

しかし、「現金主義」では、資産・負債などのストック情報や減価償却費などのフロー情報が見えてきません。

全ての資産や負債なども把握するため「発生主義」の考え方が導入されました。それが「地方公会計制度」の始まりです。

きっかけは現実に起こった自治体の財政破綻。住民への行政サービスの低下を防ぐため、これまでに地方自治体の資産・債務管理に関する公会計整備推進の法律や方針が示されてきました。

国は地方自治体に対し、「資産・債務管理」「将来の施設の更新維持管理費の把握」を強く求めています。平成18年6月2日に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律（行革推進法）」が施行され、同年8月31日に総務事務次官通知にて発生主義の活用及び複式簿記の考え方の導入を図り、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表を整備することが求められました。

また、建物や機械類の老朽化が進行し、合併自治体の交付税優遇措置の期限切れなどによる歳入総額の減少も重なって、それらの更新・維持管理といったマネジメントの在り方が喫緊の課題となっています。

このような状況下において、日南串間広域不燃物処理組合は国の地方公会計制度を導入し、財務書類4表の作成を行い健全な財政運営に取り組んでまいります。

ストック情報

資産や負債などの一定時点の状態を表します。

フロー情報

人件費や物件費などの一定期間の実績の情報を表します。



財務書類とは

予算書や決算書などの今までの公会計とは別に、日南串間広域不燃物処理組合の財務状況をあらわす新たな取り組みとして、次の財務書類を作成しました。

- ①資産や負債の状況などを表す「貸借対照表」
- ②人件費や減価償却費などの経費を表す「行政コスト計算書」
- ③純資産の一年間の変動内容を表す「純資産変動計算書」
- ④資金収支の状況を性質別に3つの区分に表す「資金収支計算書」

以上の4表をあらわしたものが財務書類と呼ばれ、財務状況確認のための情報でもあります。

貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表（バランスシート）は、会計年度末に日南串間広域不燃物処理組合が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目するこれまでの決算書では表示することができなかった、日南串間広域不燃物処理組合が保有している財産や抱えている負債など、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

単位：(千円)

借方		貸方	
土地や建物など組合が保有する公共施設の総額。		地方債の残高や退職手当など将来世代が負担する金額。	
【資産の部】		【負債・純資産の部】	
有形固定資産	712,368	固定負債	10,784
投資等	149,147	地方債	0
基金等	149,147	退職手当引当金	10,784
流動資産	57,799	その他	0
現金・預金	57,799	流動負債	5,189
		1年内償還予定地方債	0
		賞与等引当金	4,977
		その他	212
		純資産	903,341
資産 合計	919,314	負債+純資産 合計	919,314

注：職員退職や施設整備に備えるための基金、土地や建物などの財源として受けた国や県からの補助金や構成市からの負担金。これまでの世代が負担してきた金額。

行政コスト計算書

行政サービスを提供する際に発生する支出のうち、資産の取得（土地や建物の購入等）にかからない支出と、行政サービスの対価として得られた収入を計上しています。費用が収益を上回っていますが、これは行政コスト計算書上の収入として、行政サービスの直接的な収入のみを計上しているためです。

単位：(千円)

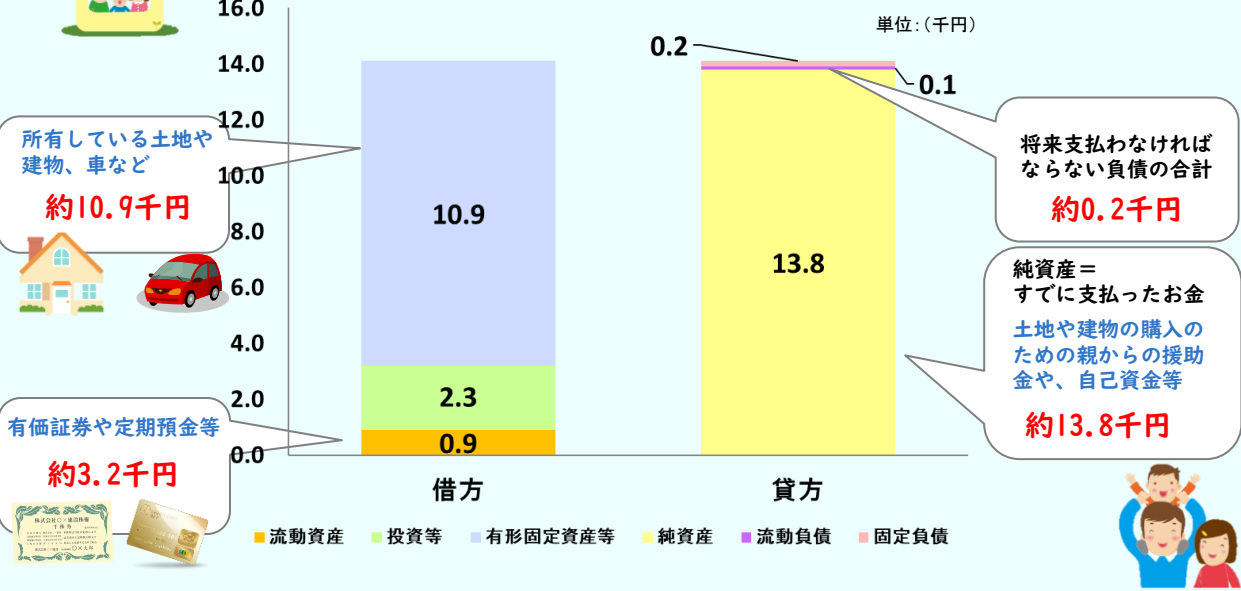
区分	金額
経常費用	307,057
人にかかるコスト	60,987
物にかかるコスト	244,341
その他のコスト	580
移転支出的なコスト	1,149
経常収益	68,759
使用料・手数料	5
その他	68,754
純経常行政コスト	238,298
臨時損失	0
臨時利益	0
純行政コスト	238,298

注：職員給与のほかに、賞与引当金や退職手当引当金の繰入額が計上されます。
 物件費のほかに、施設の維持補修費や減価償却費が計上されます。
 移転支出的なコストには補助金等が計上されます。

注：その他のコストには支払利息や保険料等が計上されます。
 売払収入などが計上されます。
 空き缶：25,811千円
 破砕鉄・ステンレス：21,934千円
 ペットボトル：10,752千円
 コード類：2,819千円 等

貸借対照表を住民1人あたり※に換算すると...

※日南串間広域不燃物処理組合の構成市である日南市・串間市の令和6年1月1日時点住民基本台帳人口：65,554人



～貸借対照表の主な分析指標～

流動比率

翌年度支払い予定の負債額に対して、すぐに支払いに充てることのできる現金・預金がどのくらいあるのかを示す指標です。（流動比率＝流動資産÷流動負債）

日南串間広域不燃物処理組合の流動比率 = 1113.88%

純資産比率

現在所有している資産について、現世代の負担でどの程度支払っているかを示す指標です。（純資産比率＝純資産÷資産総額）

日南串間広域不燃物処理組合の純資産比率 = 98.26%

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。

純資産の増加要因には、行政サービスの対価として支払われる以外の収入（構成市からの負担金や国・県からの補助金等）があり、減少要因には、行政コスト計算書で算出される純行政コストや評価差額の減少分が計上されます。

単位：(千円)

前年度末の残高	961,013
純行政コスト	△ 238,298
財源	180,626
資産評価差額	0
無償所管換等	0
その他	0
本年度末の残高	903,341

純資産が昨年度よりも増加した場合は、負債の増加より資産の増加のほうが多かったことを示しています。逆に純資産が減少した場合は、行政コストが多くかかっていたり、資産の増加より負債の増加が多かったことを示しています。

資金収支計算書

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したのかを表しています。現金の使いみちによって3つの区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったのかのかが分かります。

単位：(千円)

前年度末の残高	60,746
業務活動収支	△ 52,746
投資活動収支	49,588
財務活動収支	-
本年度の資金変動額	△ 3,158
本年度末の残高	57,588

前年度末歳計外現金残高	1,210
本年度歳計外現金増減額	△ 999
本年度末歳計外現金残高	211
本年度末現金預金残高	57,799

業務活動収支

行政サービスの提供が必要となる人件費や物件費などの支出と税金などによる収入が計上されます。

投資活動収支

土地や建物の取得のために支出した金額とその財源となった補助金などが計上されています。

財務活動収支

支出には地方債の償還額が、収入には地方債発行による収入等が計上されます。